

令和 7 年度（総務室）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）【必須事項】	法令遵守意識をより確固としたものにする。	○ 職場研修（机上研修）において、近年の処分事例等を紹介し、公務員としての自覚と法令遵守意識の更なる向上に努めた。 ○ 研修における啓発等により、目標を達成した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須事項】 【教育委員会リスク一覧の対象】	職場のハラスメントの問題について理解を深め、ハラスメントを未然に防止する。	○ 職場研修（机上研修）において、職場のハラスメント事例などについて、啓発を行った。 ○ 研修における啓発等により、目標を達成した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策【教育委員会リスク一覧の対象】	情報の管理方法を改めて確認し、重要情報の紛失、漏えい等を未然に防止する。	○ 職場研修（机上研修）において、個人情報の取扱いについて、事例紹介等をしながら啓発を行った。 ○ 外部記録媒体の管理について、不適切な取扱事案が 1 件発生した。持出記録台帳の適切な運用方法の再設定及び周知や、複数名でのチェックの徹底等の改善を行った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）【教育委員会リスク一覧の対象】	職員間の情報共有や相互チェック体制を確立し、業務の遅延やケアレスミスを防止する。	○ 引き続き、各グループのミーティング等により、職員間の情報共有を図り、進行管理については相互チェックを徹底するなど、協力して業務に取り組むよう努めた。 ○ 業務執行体制の確保の取組により、目標を達成した。
財務事務等の適正執行【教育委員会リスク一覧の対象】	財務規則等を遵守した適切な事務手続きを徹底する。	○ 複数職員による進行管理を徹底し、財務規則等を遵守した事務手続きを行い、目標を達成した。
適切な県民対応	県民の信頼に応えるため、「職員一人ひとりが県の顔」としての自覚を持ち、県民の視点に立った丁寧な対応を徹底する。	○ 職場研修（机上研修）において、理不尽な苦情（カスハラ）への対応を中心に適切な言葉づかいや電話対応等について、県民の視線に立ち、丁寧で適切な対応を心掛けるよう、周知を行った。 ○ 県民の視線に立った丁寧な対応をすることができ、目標を達成した。

○ 令和 7 年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（所属長意見）

- 令和 7 年度不祥事ゼロプログラムについて、外部記録媒体の不適切な取扱事例が発生したなどの課題はあったものの、概ね目標を達成することができた。
- 令和 8 年度は、職場研修等を通じて外部記録媒体等の管理などについて啓発を行うとともに、業務執行体制の確保や適切な県民対応等に取り組んでいく。